

○ 本校の概要

○学校規模(児童数356名、学級数 12学級、教員数 18名)
○特色 児童も教員も保護者も、誰もが「かつやくする学校を目指しています。
児童は一人一人がそれぞれの力を発揮して、一生懸命学んだり活動したりし、主体的に学びます。 教職員は「わかるまで教えるために、教材を工夫し、意欲を引き出し、伝え合い学び合う場を設定します。 保護者は「学びを支える」ために、規則正しい生活で、家族の時間を大切に、夢や希望を育てます。家庭・地域と連携し、地域力を生かした教育活動を推進しています。
○知・徳・体のバランスのとれた教育を目指しています。今年度特に「学力向上」を重点として取り組み、児童の確実な基礎学力の定着を図ります。
○校区を流れる多摩川を活用した活動(異学年交流・マラソン大会・たこあげ・自然観察等)を通して自然環境への関心を高め、また、理科教育推進拠点校として、特に「理科・生活科」の学習において、「進んで問題を見つけ、解決することができる児童の育成」を目指します。
○国語の学習において、「自分の考えを伝えるための表現力の育成」を目指します。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 小項目, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心を育みます', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に関わった教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作りまします'.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す